

1700年4月15日 壱岐・対馬の地震

On 1700 Iki-Tsushima earthquake

石川 有三[1]; 秋 教昇[2]; Jun Myung-Soon[3]

Yuzo Ishikawa[1]; Kyo-Sun Chu[2]; Myung-Soon Jun[3]

[1] 気象研; [2] ソウル大海洋研; [3] CTBTO/地震波監視

[1] Meteorological Res. Inst.; [2] Res. Inst. Oceanography, Seoul Univ; [3] Seismic Monitoring Sec.,CTBTO

1. はじめに

元禄 13 年 2 月 26 日 (太陰暦) に発生したこの地震は、宇佐美(1987)によれば震央は、壱岐の北西近傍とされている。これは、26 日の地震で壱岐、対馬で大きな被害が出たこと、北九州各地で有感であったことが根拠とされている。ところが、朝鮮民主主義人民共和国の地震カタログ(朝鮮地震研究所(1984)、中国語訳が李(1986))にもこの日に対応する西暦 1700 年 4 月 15 日に起きた地震の記載があるが、ここには韓国中南部の知異山の地震で M6.9 と記載されている。石川ら(1998)は個々の国で閉じた資料を基に震源を推定する危険性を指摘すると共に、和田(1912)の成果を元に原資料までたどり、両地震は同じものでこの地震の際に朝鮮半島南部でも広範囲で有感報告があったことを示し、震源が宇佐美のものよりもっと朝鮮半島に近い可能性を指摘した。その後、韓国だけでなく中国でも朝鮮半島の地震に関する調査が進められいくつかの地震カタログが作成された(Kim & Gao(1995), 呉(1995), 呉ほか(2001), 李(2001))。しかし、これらの地震カタログ中でこの地震に関連して、混乱が見られる。ここでそれらの関係を明らかにするため 1700 年 4 月に起きたとされる地震をすべて調べるとともに 1700 年 4 月 15 日 壱岐・対馬地震の正確な再評価を行う。

2. 1700 年 4 月に起きた地震の整理

和田の地震の表には地震番号 1402 番と 1403 番に 4 月 15 日と 4 月 29 日の地震が存在する。武者(1949)の地震年表にも両者が記載されており、それらの記述内容を比べると同じであり、同じ文献資料を根拠としたことが分かる。和田によれば前者が「承政院日記」で、後者が「朝鮮王朝実録」から抜き出している。李(1986)には、4 月 15 日と 16 日に地震があったとしているが、李(2001)にはこれらは無く 4 月 29 日の地震だけがある。呉(1995)と呉ほか(2001)はどちらも 4 月 15 日、16 日の地震は無く、4 月 29 日の地震だけが記載されている。まず、4 月 15 日の地震は、和田、武者、李(1986)が取り上げている。もちろん日本側の資料の方が豊富である。「承政院日記」では異なった日付で数日間にわたりこの地震の記載があることからこれらの信頼性は高く、半島中南部全域で有感であったことは間違いない。これは和田が示した有感範囲とほぼ合致する。従って、これらの地区は朝鮮半島の中でも対馬から距離が近い所であり有感になったと考えられ、壱岐・対馬地震による有感範囲が朝鮮半島南部一帯に及んでいたと解釈すべきである。次に 4 月 16 日の地震であるが、これは李(1986)だけに掲載されている。ここには出典が示されていないが、いろいろな資料から、15 日の地震の余震と推定できる。最後に 4 月 29 日の地震であるが、出典が分かっている和田、呉と呉ほかを検討する。まず、呉(1995)と呉ほか(2001)の内容は同一である。呉(1995)と和田(1912)の 1403 番の地震の記載文を比べると和田の引用文の最後に「仆」が欠けているだけで他は全く同じである。原典の「朝鮮王朝実録」で確認するとこの文字は存在し、和田が引用する際か、印刷の段階で欠落したものと思われる。李(2001)の震源パラメータは呉ほかとほとんど差はない。これらのことから和田、武者、呉、李(2001)は同じ史料を 4 月 29 日の地震の根拠としたと考えられる。和田の有感範囲は広くはない。見つかった資料もこの 1 件だけである。この地震の史料を再検討すると「朝鮮王朝実録」のこの地震に関する記述中には日付が書かれていない。この項の直前項の記載は、「甲辰」の日付があり、直後の項には「丙午」の日付がある。そのため日付のないこの項を前項と同じ日だと和田、武者、李、呉らは判断したと思われる。しかし、このように記述日と推定される日を地震発生の日とするのは間違っている可能性が高い。特にこの記述日は、「承政院日記」では 4 月 15 日の地震に関する記述をしている日とほぼ同じである。

3. 結論

4 月 29 日の地震については、日本側で地震に関する資料が見つからない、記述した日は 4 月 29 日かも知れないが、地震はそれより前に起きていたと推定され、記述された内容が 4 月 15 日の地震に関する内容と似ており、その情報が「朝鮮王朝実録」に書かれた日は「承政院日記」に書かれた日と同じ日か 1 日後の日である。これらの推定から、4 月 29 日の地震は存在せず、4 月 15 日の地震に関する情報を記述した日を地震が起きた日とした推定ミスから別に架空の地震を作り上げてしまったと結論できる。